

図書館だより

2017.1.1 №.147 冬号

発行:生駒市図書館 生駒市辻町238番地

TEL:0743-75-5000 <http://lib.city.ikoma.lg.jp/>



今年も熱いバトルが
繰り広げられる！！

第2回ビブリオバトル

2017年

3月19日(日)

会場:生駒市図書館

全国大会 in いこま

待ちに待った、ビブリオバトル全国大会
が、さらにパワーアップして帰ってきた！
全国から激戦を勝ち抜いた強者バトラー
たちが、とておきの一冊を持って、生駒
たちが、とておきの一冊を持って、生駒
に集結！あなたの人生を変える、運命の一
冊に出会えるかも！？

タイムスケジュール

10:00～ 予選

13:15～ 朝井リョウ 先生
トークイベント

15:00～ 決勝戦

観戦のお申込み方法

- ①生駒ビブリオ倶楽部HPから
<http://ikomabiblio.jimdo.com/>
 - ②お電話 生駒市図書館:75-5000
 - ③市内図書館・室への来館
- ※定員になり次第締め切ります



トークイベント
開催！！

直木賞
作家
朝井リョウ
先生

教えて、朝井先生！

トークイベントで、朝井先生に聞きたい質問を大
募集中！各館・室にある質問票を書いて、回収
BOXへ。質問の中から、先生がいろいろ答えて
くれるので、この機会をぜひお見逃しなく！！

実施期間:2/1(水)～2/28(火)

※ 大会終了後に、会場で朝井先生の著作をご購入
いただいた方を対象にサイン会を行います。



1月22日(日)14:30～

いこま予選会を開催！

いこまの代表が
決まります！

テーマ
「リョウ」 生駒市図書館
第2研修室

全国大会のスペシャルベスト、朝井リョウ先生の
お名前にちなみ、「リョウ」をテーマにいこま予選会を
開催します。「良」「量」「寮」「料」「領」「漁」……。
どんな「リョウ」が飛び出すか。

熱戦に乞うご期待！



生駒ビブリオ倶楽部
公式キャラクター
ほんのむしくん

生駒市図書館司書対抗 紙上ビブリオバトル うちの図書館(室)で、いちばんのおすすめ!

特集期間：1月5日(木)～4月6日(木)

本館

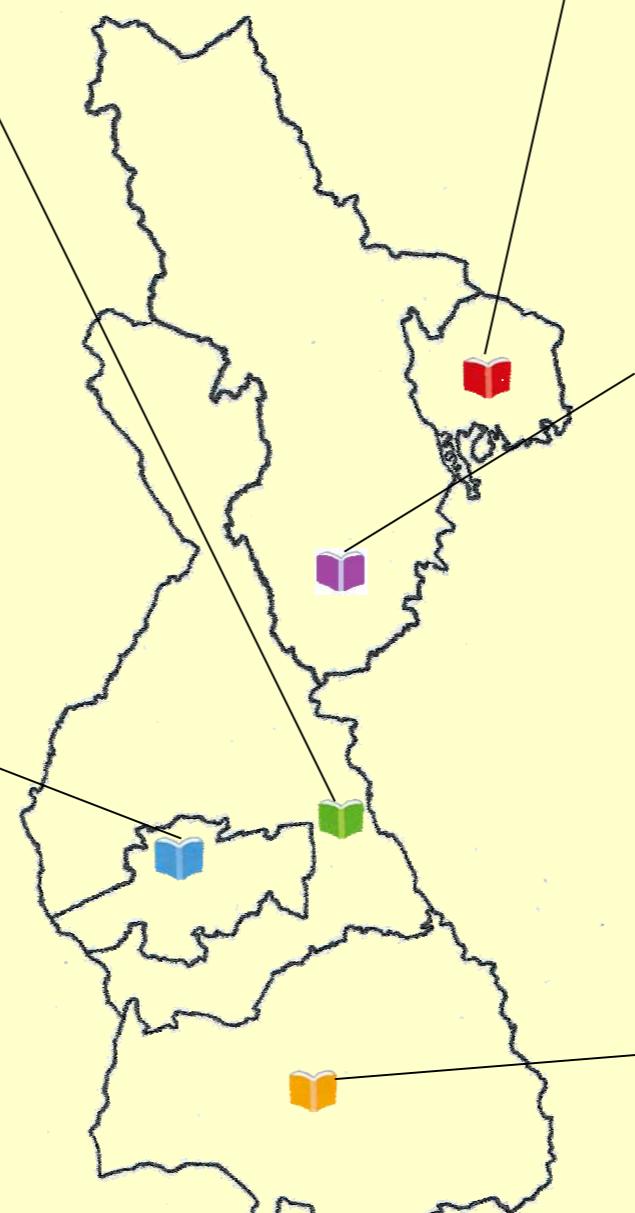
『舟を編む』

三浦しづく／著 光文社



広く深い言葉の海を渡る舟作り

恋人いない歴二実年齢の馬締(まじめ)光也。所属する玄武書房第一営業部では存在感も薄く、変人扱いされる日々。しかしその名は体を表すようで、その真面目な性格、言葉への鋭い感性から辞書編集部へ異動に。難航する辞書作りに初めての恋。不器用だけど真直ぐな馬締さんから、あなたも目が離せないはず。



駅前図書室

『ペンギン・ハイウェイ』

森見登美彦／著 角川書店



私は、泣いたっていいと思った。

クールで研究熱心な小学生・アオヤマ君の町に突然ペンギンが現れた。そのペンギンは親しい歯医者のお姉さんと何やら関係があるらしく、アオヤマ君はその謎を研究することに……少年が辿りつく答えと決意に胸を打たれます。どんな理不尽な結末だとしても、あなたはアオヤマくんのように強くなれますか？

3月19日(日)に開催する「第2回ビブリオバトル全国大会 in いこま」にさきがけ、生駒市図書館司書による紙上ビブリオバトルを行います。各館・室のとておきの一冊を紹介します！

投票方法：各館・室に設置された投票台紙に、シールを貼ってください。

投票期間：1月5日(木)～3月31日(金)



鹿ノ台図書室

『「世界征服」は可能か？』

岡田斗司夫／著 筑摩書房



世界征服したら幸せになれるの？

ショッカー等、悪の組織が掲げては散っていく「世界征服」の野望。そのために必要な資金や人材はどれほど必要で、どう集めるべきなのか。過去の悪の組織を参考に、著者が真面目に考察しているのが面白い。世界征服の先に待ち受けるのは、支配者にとって理想の未来なのか！？結構衝撃の結末です。

北分館

『エンデュアランス号大漂流』

エリザベス・コーディー・キメル／著 光文社



冒険には失敗でも、面白さは満点

第一次世界大戦の時代、南極大陸横断を目指して船は出港した。しかし船体は流氷に押しつぶされ、28名の男たちは氷上に取り残されてしまう。560km離れた補給基地へたどり着くほか生還への道はない…。後世の冒険家の間で語り継がれる不屈の精神、「偉大な失敗」の記録。ピンチの連続に、一気読み間違いなし。

南分館

『めざすは飛鳥の千年瓦』

山本清一／著 塩野米松／聞き書き 草思社



生駒が誇る瓦葺き職人の姿ここに

尋常高等小学校卒業後、父に弟子入りし、民家の瓦葺き職人の道を歩み始めた山本さんは、法隆寺の屋根の美しさに心を奪われ、やがて文化財の屋根の修復に携わることに。長い年月に耐えうる丈夫な瓦作りのため何度も試行錯誤を重ねながら、東大寺や姫路城の他数多くの文化財の修復に取組んだひたむきな姿が親しみのある言葉で綴られた一冊。



利用者の声をお伝えします。

私の心を動かした1冊 ⑯

『少女は卒業しない』

(朝井 リョウ/著 集英社)

林原 千賀

翌日廃校になり取り壊される高校の卒業式。

この小説は、その最後の一日を時系列に描いた連作短編集。

図書館の先生に想いを寄せる少女。先輩。部内公認の彼。たった一人の友達。沢山の思いがつまつた校舎が無くなってしまうのだから尚さら別れがつらく寂しい。

登場人物たちは、他のお話にも違う役割で、何度か登場する。この場面は、この人物からはこう見えていたとか。一つ一つのお話は少しずつ繋がっている。学年トップの田所君は、生徒会長、同級生、先輩とその時々で立場を変えて最多出演する。

朝井リョウは若い男性の作家だが、女子力の高い人に思える。髪を巻いて、お気に入りのシュシュをつけて「強い風が吹きませんよう心の中で祈る」や「先輩の書く α と Σ の形が好きでした」等々。かつて女子高生だったのか?というくらい、少女の心象が鮮やかに描写される。

季節ごとの校舎の佇まいも心に残る。制服のスカートのひだの重さや、お弁当の匂い。体育館での卒業ライブ。映像だけでなく、音、温度、匂いまでリアルに感じられる。

最終章は、彼を失ってしまったまなみと、友を失った香川のお話。切なくて涙が出てくる。だが、「まるでこの場所から夜が明けていったみたいだ」大丈夫。二人は未来に向かって歩いていく。

若い人にも、かつて高校生だった人にもお勧めの一冊。

編集後記

「伝えたいなら バトルに いこま／あおによし 奈良の都は ビブリオの 聖地のごとく 今盛りなり／あなたの心をつかむ！ヤツは何者？／本なら（奈良）生駒で語り合え！」さて、これは、何だと思いますか？ 実は、全国大会のキャッチコピーの没作品です。全館・室の司書が「これぞ！」と知恵をしほって案を出しました。大賞（？）は「名作も、二巻目からがおもしろい。」に決まり、大会に向けて着々と準備中。ぜひ、全国大会にお越しください！（せ）



1月～3月の休館日 毎週月曜日、館内整理日（2／3、3／3）

★1月9日（月）、2月11日（土）、3月20日（月）の祝日は、全館開館（9:30～17:00）します。